

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2016年第4四半期（10月～12月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

- シャルジャ警察によると、シャルジャ首長国における2016年の犯罪発生件数は13,638件で、2015年の15,114件に比べ、約9.8%減少した。殺人、強盗等の凶悪犯罪は、2016年は1,511件発生し、2015年の2,040件に比べ、約26%減少した。
- シャルジャ警察によると、シャルジャ首長国における2016年の薬物関係事犯は643事件で、2015年の453事件に比べ、190事件増加した。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ ドバイ首長国（10月14日発生）

ドバイにおいて、コモロ連合国籍の男は、不倫関係にあった女性と共謀して、女性の夫を車で砂漠地帯まで連れ出し、手足を縛った上、頭や腹をコンクリートブロックで殴って意識不明にさせた。さらに同男は、被害者をアル・クセー地区まで運び、意識不明の同人の頭を車のドアに叩きつけた上、車で踏み付けて殺害し、同死体にガソリンを撒いて火を付けて燃やした。

○ シャルジャ首長国（12月2日発生）

アル・マスアラ地区において、アジア人の男は、友人の男と金銭トラブルから口論となり、同人を刃物で複数回を突き刺して殺害した。

○ シャルジャ首長国（12月27日発生）

メイサルーン地区のスーパーマーケットにおいて、パキスタン人の男は、金銭トラブルから同店オーナーのインド人男性を刃物で複数回突き刺して殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（11月発生）

アル・アウアー地区のショッピングモールにおいて、バングラデシュ人の男は、父親が礼拝のため子供から離れた隙に、UAE国籍の6歳の女兒と3歳の男児にわいせつな行為をした。

○ シャルジャ首長国（12月4日報道）

アル・マスアラ地区のアパートにおいて、アジア人の男は、帰宅中の14歳の少女の後を付けて一緒にエレベーターに乗り込み、同エレベーター内でわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（12月21日報道）

UAE国籍の男は、カナダ人女性の友人と食事をした後、しばらくドライブをしたいと言ってラシディーヤ地区の砂漠地帯まで同女性を連れ出した。暗闇に連れられて危険を感じた同女性は、同男に見つからないように携帯電話で警察に通報し、さらに、車から降りて逃げようとしたところ、同男は女性を押さえつけて平手打ちをするなどして脅し、強姦しようとした。通

報を受けた警察は被疑車両の位置を特定した上、犯行場所に臨場し、同女性を保護した。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国 (10月発生)

マアイスナ地区において、パキスタン人の男4人は、走行中の車を追跡して停車させ、乗車していた2人を車から引きずり出して、棒で殴るなどした上、現金と携帯電話を強取した。

○ ラアス・ル・ハイマ首長国 (10月24日発生)

マムラー地区において、アフリカ系の男は、帰宅した男性を自宅前で待ち伏せし、突然催涙スプレーを顔面に吹き付け、同人が地面に倒れ込んだところ、所持していた携帯電話などを強取した。

○ ドバイ首長国 (11月2日発生)

テコム地区の両替店において、英国人の男は、ティッシュ箱にビニルテープを巻いた偽物の爆弾を所持して、同店のフィリピン人マネージャーに5,500ディルハムをよこさなければ爆弾を爆発させると脅して、現金を強取しようとしたが、警察に通報され、逃走した。

(4) その他

○ ドバイ首長国 (10月17日発生)

インターナショナル・シティ地区の駐車場において、中国人の男3人は、投資家の男性を略取し、ナイフを突き付けるなどして脅迫し、約200万ディルハムの小切手と5,000ディルハムの現金を交付させた。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。